

【参加者企画】メディアドクター・ワークショップ 「プレスリリース」と「報道記事」の読み比べ

ーがん治療の副作用をどう伝えるかー

佐藤正恵¹⁾⁴⁾、北澤京子²⁾⁴⁾、渡邊清高³⁾⁴⁾

1)千葉県済生会習志野病院 2)京都薬科大学 3)帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科
4)メディアドクター研究会

【メディアドクターとは】 <http://www.mediadoctor.jp/>

2020年からのCOVID-19感染拡大後、ネットやSNSでフェイクニュースが拡散するなど、健康・医療情報の“質”は、今や、全世代が関心を持つテーマです。医学図書館、公共図書館など情報を収集・提供する立場の方や、情報を受け取る市民や学生さんも、情報の取捨選択に迷うことが多いのではないのでしょうか。

メディアドクター研究会は、健康・医療情報の“質”を読み解く力を育み、よりよい報道や情報発信につなげる活動として2007年に発足しました。オーストラリアの大学で発案された指標を基に、日本の状況に合わせて改訂した「メディアドクター指標」を用いて、記事の評価を行っています。ほぼ隔月で開催される定例会ワークショップはこれまで80回を超え、多様な参加者（医療従事者、ジャーナリスト、図書館司書、患者支援者、学生、市民など）の参加を得て、記事やネットニュースの評価とディスカッション、さらに専門家のミニレクチャーを行ってきました。全国各地の公共図書館や患者会、学校などでも「ご当地版メディアドクター」としてワークショップを行っています。MIS（医学情報サービス研究大会）では、これまで東京/大阪/福岡大会で参加者企画を開催してきました。

ワークショップ以外の活動として、2022年にはNHKテレビ番組「フェイクバスターズ」に協力しました。さらに医療系情報初学者のためのハンドブックとして「さがす・読む・伝える はじめての医学系情報」（2023,日本医学出版）を出版しました。

【今回のテーマ】

今回のワークショップは、がん治療に関する記事がテーマです。まず「メディアドクター指標」を使って記事の評価、吟味します。さらに、その記事の基となったプレスリリースがどのように作られ発信されるのかを学びます。今回は新たな試みとして、記事用の「メディアドクター指標」に加えて「プレスリリース用メディアドクター指標」を用いて情報を吟味します。専門家によるミニレクチャーもあります。参加者によるディスカッションを通して、健康・医療情報を伝える力、読み解く力を高めるきっかけとなれば幸いです。初めて参加する方、医療の専門的知識がない方も大歓迎！どうぞお気軽にご参加ください。Learning from each other! 共に学びあいましょう。[2023/7/2@MIS38 高知大会]